

2023年9月中間期

ディスクロージャー誌



Semi-Annual Report

静岡中央銀行の現況

SHIZUOKA CHUO BANK

お客様・地域社会と共に発展し  
ベストパートナーとして信頼される銀行を目指して



取締役社長 清野 真司

皆さまには、平素より静岡中央銀行をお引き立ていただきまして、誠にありがとうございます。

おかげさまで、業容も着実に拡大しており、これもひとえに皆さまのご支援の賜物と深く感謝しております。

このたび、静岡中央銀行をより一層ご理解いただき、さらに身近に感じていただくため、2023年9月中間期ディスクロージャー誌を作成しましたので、ご一読いただければ幸いです。

当行は、2022年4月より2年間を計画期間とする第14次中期経営計画「深化」をスタートいたしました。

基本方針「お客様中心主義の深化」のもと、持続可能なビジネスモデルの深化を図っていくとともに、お客様と地域に寄り添いながらニーズや課題にお応えする（解決する）努力を続けることで、地域金融機関として、「お客様・地域社会と共に発展しベストパートナーとして信頼される銀行」であることを役職員一丸となって目指してまいります。

今後も、皆さまのベストパートナーとして、幅広いお客様のニーズに迅速かつ適切に対応し、地域金融機関としての役割を果たせるよう努めてまいりますので、皆さまにおかれましては、なお一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2024年1月



静岡中央銀行 2024年カレンダー「富士山フォトコンテスト 最優秀賞」 「幻想桜富士」 宮崎 泰一氏 撮影

CONTENTS

ごあいさつ	1	<b>3. 地域の皆さまとともに</b>	
静岡中央銀行のプロフィール	2	地域密着型金融の推進	6
<b>1. 経営方針</b>		サステナビリティへの取り組み	9
経営理念	3	お客様のニーズに合った店舗展開	10
中期経営計画	3	<b>資料編</b>	11
<b>2. 業績ハイライト(単体)</b>			
2023年度 中間決算概要	4		

本冊子は銀行法第21条に基づいて作成したディスクロージャー誌です。

静岡中央銀行のプロフィール  
(2023年9月30日現在)

本店所在地	沼津市大手町4丁目76番地
設立	1926年(大正15年)11月12日
資本金	20億円
預金	7,331億円
貸出金	6,020億円
店舗数	43店舗
	(静岡県内 23本支店 3出張所)
	(神奈川県内 14支店 2出張所)
	(東京都内 1支店)
従業員数	447人

経営理念

堅実で健全な経営

当行は、経営理念「堅実で健全な経営」のもと、地域経済活性化への貢献に努め、地域と共に成長し地域金融機関としての企業価値を高めることにより、お客様・地域社会のベストパートナーとして信頼を得る。



中期経営計画

●当行は、2022年4月より第14次中期経営計画「深化」～持続的成長に向けた挑戦～をスタートいたしました。基本方針「お客様中心主義の深化」のもと、ビジネスモデルである訪問頻度管理を深化させ、外部環境・内部環境や認識する課題等を踏まえた新たな施策にも積極的に取り組むことで「お客様・地域社会と共に発展しベストパートナーとして信頼される銀行」を目指してまいります。

**第14次中期経営計画**  
**深化 持続的成長に向けた挑戦**

期間 / 2022年4月～2024年3月(2年間)

**経営理念**  
堅実で健全な経営

**目指す銀行像**  
お客様・地域社会と共に発展し  
ベストパートナーとして  
信頼される銀行

基本方針  
**お客様中心主義の深化**  
“ビジネスモデル＝訪問頻度管理”を深化させ、お客様と地域に寄り添って  
ニーズや課題に応える(解決する)ことで、共に発展を目指す。

**5つの基本戦略**

**I お客様中心主義の実践**

- 1.信頼される行動の実践
- 2.3つのCCの実践
- 3.お客様・地域社会の発展に貢献し利便性の高い商品サービスの拡充

**II 営業改革の実践**

- 1.訪問頻度管理のステップアップ
- 2.金融仲介機能の発揮と地域経済活性化への貢献
- 3.預貸促進とロイヤルティの高いお客様の拡大

**III 業務改革への挑戦**

- 1.生産性向上に向けた業務改革
- 2.経費の最適化と環境保全への取組み
- 3.店舗戦略

**IV 活力ある人事戦略**

- 1.挑戦する人材の育成
- 2.人事制度・採用体制の最適運用・強化
- 3.行員ロイヤルティ・働きがい向上による活力アップ

**V 経営基盤の強化**

- 1.基礎的利益的持続的拡大
- 2.安定的な有価証券収益の確保
- 3.経営管理の強化

行動指針  
**Passion(熱意) & Team support(チーム対応)**

用語解説

「CC」とは？

Customer Centric(カスタマーセントリック)の略語で、「お客様中心主義」を意味します。「お客様(カスタマー)を中心(セントリック)に」物事を考え、判断し、行動することを指します。

「ロイヤルティの高いお客様」とは？

将来にわたって当行に利益をもたらす行動意図があるお客様のことです。

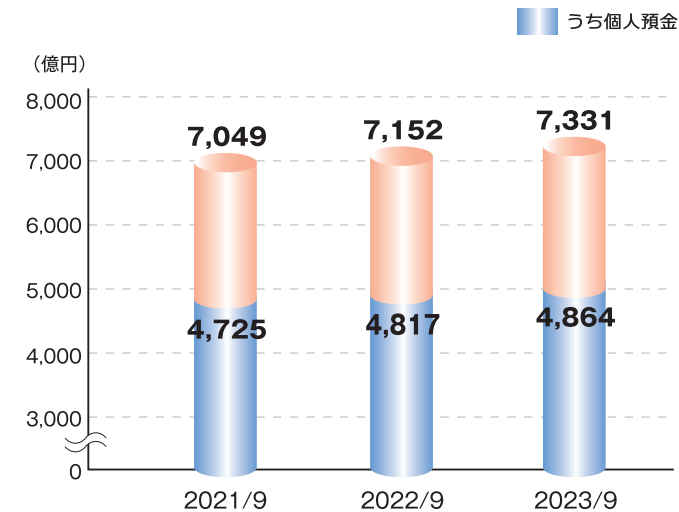
- ①他に選択肢があるにもかかわらず当行を選んでいただけるお客様
- ②当行との取引を永く続けていただけるお客様
- ③友人・知人・親戚に当行を紹介したり取引を奨めていただけるお客様
- ④不平・不満があったら正しく伝えてくださるお客様

2023年度 中間期決算概要

■預金残高

～年間増加率2.5%～

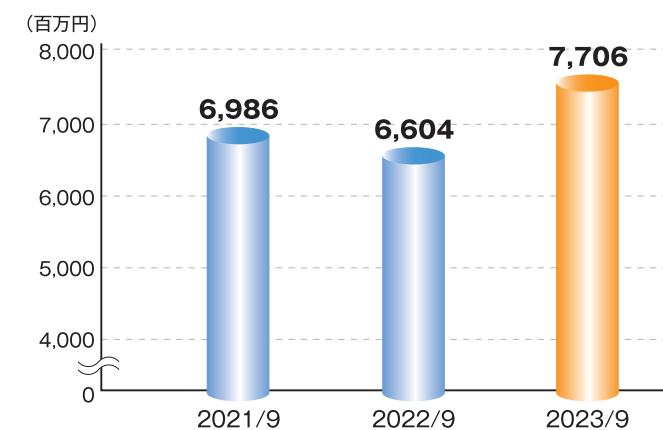
店頭・店周営業の着実な実践によって、個々のニーズやライフステージに応じた商品・サービスの提供に努めたこと等により、預金残高は前年同期末比179億円2.5%増加の7,331億円となりました。



■経常収益

～2年振りの増収～

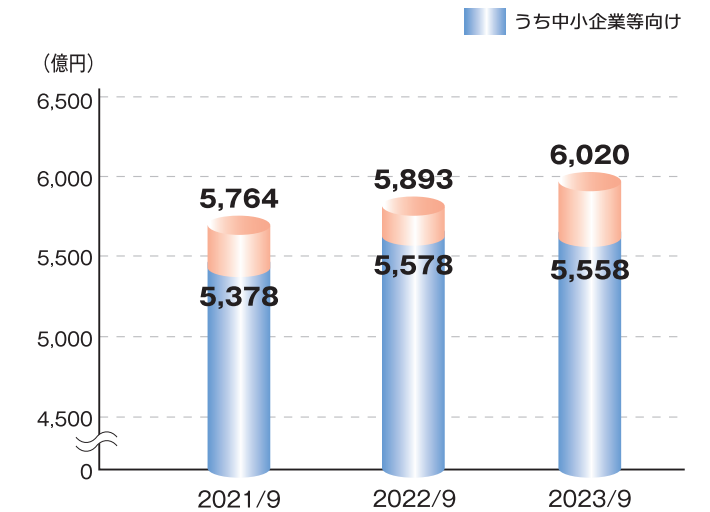
貸出金利息、役員取引等収益が増加するなど本業が堅調に推移したこと等により、経常収益は前年同期比11億2百万円16.6%増収の77億6百万円となりました。



■貸出金残高

～年間増加率2.1%～

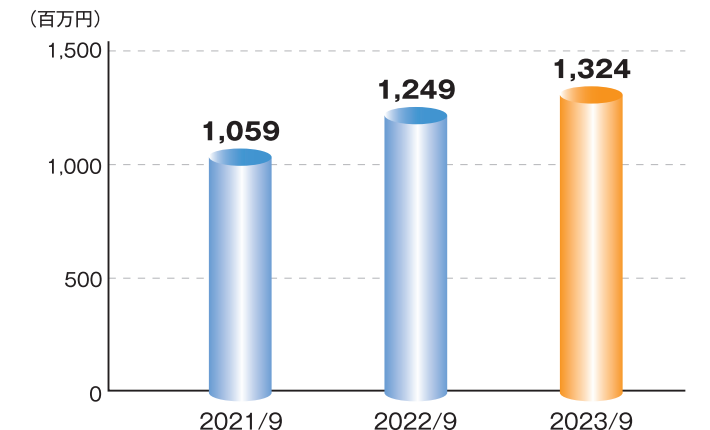
定期的な顧客訪問によって金融仲介機能の発揮に努め、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けたお客様への継続的な金融支援等により、貸出金残高は前年同期末比126億円2.1%増加の6,020億円となりました。



■中間純利益

～3年連続の増益～

与信費用等が増加したものの、本業が堅調に推移したこと等により、中間純利益は前年同期比75百万円6.0%増益の13億24百万円となりました。

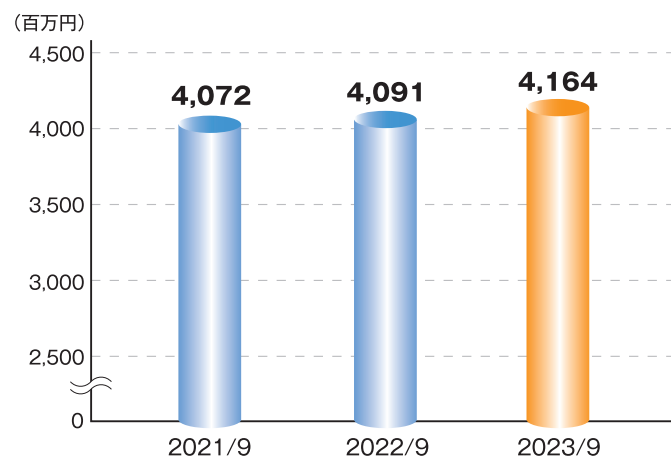


2023年度 中間期決算概要

■ 預貸金利益 (貸出金利息 - 預金利息)

～5年連続の増益～

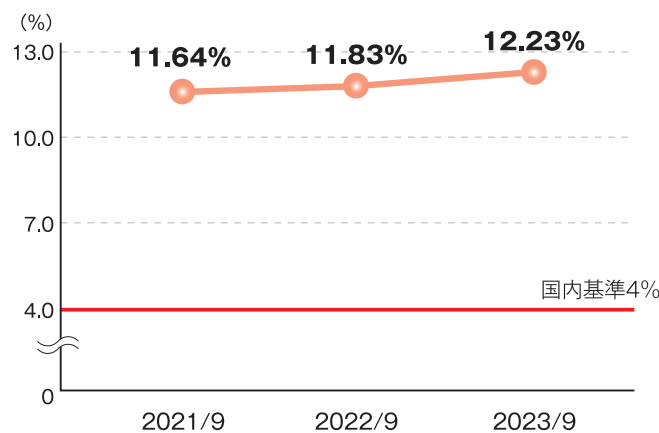
貸出金残高の着実な増加によって、貸出金利息が5年連続で増加したこと等により、預貸金利益は前年同期比73百万円1.7%増益の41億64百万円となりました。



■ 自己資本比率 (国内基準)

～高水準の自己資本比率を堅持～

自己資本比率は12.23%と国内基準の4%を大きく上回り、高水準の自己資本比率を堅持しております。

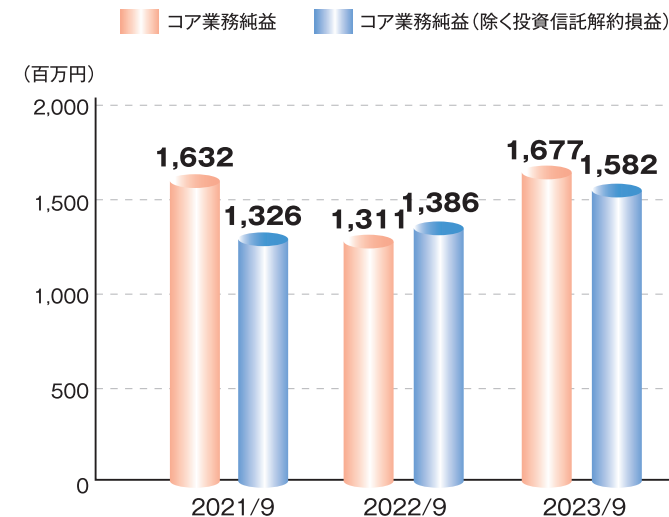


■ コア業務純益

～本業利益は着実に増加～

預貸金利益、役務取引等利益が増加したこと等により、本業の収益力を示す投資信託解約損益を除くコア業務純益は15億82百万円と堅調に推移しております。

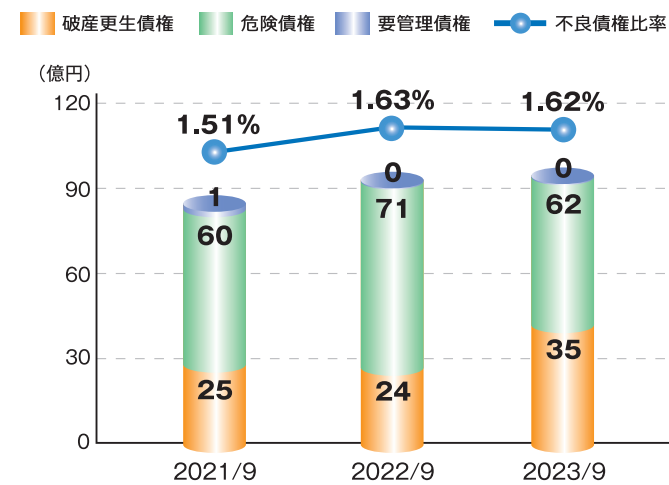
コア業務純益 = 業務純益 + 一般貸倒引当金繰入額 - 国債等債券損益



■ 不良債権の状況

～1%台 高い健全性を維持～

金融再生法開示債権およびリスク管理債権は98億38百万円となり、総与信残高に占める割合は1.62%となりました。なお、同債権の90.29%を担保等でカバーしております。



地域密着型金融の推進

● お客様に喜ばれる商品・サービスの提供

「ご近所応援定期“エール”」好評販売中

主に店舗周辺のお客様を対象とした「ご近所応援定期“エール”」の取扱いを継続し、2023年4月より販売を開始いたしました。本商品は、店舗窓口にご来店していただいた方限定の定期預金となり、安定した資金運用手段の提供により、地域のお客様のライフプランをサポートいたします。

- 取扱期間：2023年4月1日～2024年3月31日
- 対象：個人のお客様  
※店舗窓口にご来店していただいた方限定
- 預入期間：1年
- 適用金利：年0.15%
- 預入金額：10万円～300万円以内



「資産形成プラン」取扱開始

お客様の資産形成に関わる多様なニーズにお応えするため、2023年11月より「資産形成プラン」の取扱いを開始いたしました。

本商品は、定期預金と投資信託 (NISA口座利用) を同時にお申込みいただいた場合、定期預金の金利を年率3% (期間3カ月) に優遇する商品となります。

- 取扱期間：2023年11月15日～2024年3月29日
- 対象：上記期間中、NISA口座を利用して投資信託をご購入いただいた個人のお客様
- 商品内容：NISA口座を利用して投資信託購入金額を限度に、定期預金の金利を年率3% (期間3カ月) に優遇  
※投資信託と定期預金は同時申込に限り



● “ふじのくに” 静岡の魅力を県内外に紹介

「富士山フォトコンテスト」開催

当行では、1958年以来、富士山の風景写真を使用したカレンダーを毎年発行しており、大変ご好評をいただいております。

また、2011年5月より“ふじのくに”静岡の魅力を県内外に紹介し、地域経済活性化を目的とした「富士山フォトコンテスト」を開催しており、最優秀賞作品を当行のカレンダーに採用しております。

なお、本コンテストに多数応募いただいた星陵高等学校 (静岡県富士宮市) 写真部の皆さまへ、今後の更なる活躍を期待して、本年度も「特別奨励賞」を贈呈いたしました。



星陵高等学校 写真部の皆さま

地域密着型金融の推進

●事業性評価向上による本業支援とコンサルティング機能の発揮

本業支援による金融仲介機能の発揮

当行では、地域金融機関の使命として、従来以上にマーケティングや外部専門機関との連携を強化し、地域のお客様に対する円滑な資金供給、各種ソリューションの提供等により、金融仲介機能の発揮に努めております。

今後も「訪問頻度管理」によるお客様への定期的な訪問を徹底し、「本業支援ヒアリングシート」※を活用することで、取引先の事業内容やニーズ等の把握に努め、そのニーズに対する迅速な対応、各種情報提供等に積極的に取り組んでまいります。

※取引先の事業性や成長可能性等を適切に評価し、助言・支援する当行独自のツール。



外部専門機関との連携強化

当行では、お客様の事業承継・M&A・相続・補助金申請サポート等、より専門的なニーズに対し、外部専門機関と連携しながら積極的に対応しております。

また、業務提携先・業務提携分野も順次拡大しており、2023年度（2023年4月～12月）は新たに7社の外部専門機関と業務提携契約を締結いたしました（2023年12月31日現在 69社と業務提携）。

今後も、地域金融機関としての役割を果たせるよう、お客様の課題解決のサポートに積極的に取り組んでまいります。



様々な経営のご相談にお応えします！

- 我が社でも使える補助金はあるの？
- 補助金申請の書き方がわからない…
- 後継者がいない…
- 受発注先を増加させたい

当行とお取引のないお客様も、お気軽にご相談ください！

提携分野

- ① 相続・事業継承・M&A
- ② 補助金申請
- ③ 人材紹介
- ④ 建設・不動産関係
- ⑤ 販路開拓
- ⑥ リース関連
- ⑦ システム導入関連
- ⑧ 節税関連
- ⑨ 企業支援・コンサル関連
- ⑩ 経費削減関連 他

大和商工会議所との「事業承継支援に関する覚書」締結

2023年6月に大和商工会議所（神奈川県大和市）と地域における事業承継支援に係る連携を円滑に行い、地域経済活性化を図ることを目的とした、「事業承継支援に関する覚書」を締結いたしました。

今後は、会員企業の事業承継ニーズに対し、当行の広域な店舗ネットワークや業務提携する外部専門機関を生かしたサポートを行い、地域の事業承継を全面的にバックアップしてまいります。



大和商工会議所 本田会頭      当行 青島常務

「しずちゅうビジネスクラブセミナー」開催

2023年11月～12月に「しずちゅうビジネスクラブセミナー」を3会場（沼津市、横浜市、掛川市）で開催いたしました。

本セミナーでは、株式会社モスフードサービス元会長の櫻田厚氏を講師にお招きし、『創業の心を次世代に引き継ぐ』と題し、ご講演いただきました。

「しずちゅうビジネスクラブ」では、会員の皆さまへの各種情報提供、セミナーの開催、会員間の交流等、様々なお手伝いを行っております。

今後も、価値ある情報と経営支援サービスの提供等により、地域社会の発展に貢献できるよう努めてまいります。



経営者保証に関するガイドラインへの取組方針

当行は、2013年12月5日に経営者保証に関するガイドライン研究会（全国銀行協会および日本商工会議所が事務局）が公表した「経営者保証に関するガイドライン」（以下、ガイドライン）の趣旨や内容を踏まえ、ガイドラインを尊重し、遵守するための態勢を整備して、以下のとおり真摯に取り組んでまいります。

1. ガイドラインに基づく適切な対応

ご融資の検討に際し、以下の要件を確認し、個人保証の必要性や、経営者保証を代替する融資手法を活用する可能性について適切に検討いたします。

- (1) 法人と経営者個人の資産や資金について、明確に区分・分離されている。
- (2) 財務基盤の強化が図れており、法人のみの資産・収益力で借入返済が十分に可能と判断し得る。
- (3) 法人から金融機関に対して適時適切に財務情報等が提供されている。

2. 経営者保証を必要とする適切な説明

経営者保証を求める場合は、「どの部分が十分でないために保証契約が必要となるのか」、「どのような改善を図れば保証契約の変更・解除の可能性が高まるか」について、お客様にご理解、ご納得いただけるよう可能な限り個別・具体的に説明いたします。

3. 既存のお客様への対応

保証契約について見直しの申し入れがあった場合および事業承継により経営者が変更となる場合は、ガイドラインの要件を踏まえ、改めて経営者保証の必要性について真摯かつ柔軟に検討いたします。

4. 保証債務整理への対応

お客様より『廃業時における「経営者保証に関するガイドライン」の基本的考え方』に基づく保証債務の整理の申し出を受けた場合には、誠実に対応いたします。

経営者保証に関するガイドラインの取組状況

	2023年度上期(2023年4月～2023年9月)
①新規に無保証で融資した件数	2,464件
②新規融資件数	4,899件
③新規融資に占める経営者保証に依存しない融資の割合 (①/②)	50.3%

## サステナビリティへの取組み

### ●サステナビリティ方針

#### 「サステナビリティ方針」の策定

2023年4月に「サステナビリティ方針」を策定し、当行のサステナビリティに対する基本的な考え方を明示いたしました。本方針に則り、今後も持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

#### サステナビリティ方針

静岡中央銀行は、経営理念「**堅実で健全な経営**」に基づく企業活動を通じて、**気候変動・環境問題等の社会的課題の解決に取組み、地域経済の発展と当行の企業価値向上を目指すとともに、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。**

### ●SDGs/ESGの取組み

#### 静岡中央銀行SDGs宣言

静岡中央銀行は、国際連合が提唱する持続可能な開発目標（SDGs）の趣旨に賛同し、経営理念「**堅実で健全な経営**」のもと、企業活動を通じて地域の課題解決と持続可能な社会の実現に努めてまいります。

#### 重点取組方針

##### 【地域経済の持続的発展への貢献】

お客様のベストパートナーとして、金融仲介機能を発揮し、地域企業や地域経済の持続的発展に貢献してまいります。

##### 【多様な人材の活躍】

すべての役職員が活躍できるように、環境整備、人材育成に取組んでまいります。

##### 【地域の環境保全】

お客様の環境保全に向けた取組みを支援し、自らも環境負荷低減に向けた取組みを推進してまいります。



### ●気候変動への対応

#### 「TCFD（気候関連財務情報開示タスクフォース）提言」への賛同

2022年7月に「TCFD（気候関連財務情報開示タスクフォース）提言」への賛同を表明し、気候変動・環境問題への取組みを強化するとともに、TCFD提言を踏まえた気候変動リスク・機会に関連する情報開示の充実にも努めてまいります。

#### （CO2 排出量削減）

定義	Scope1およびScope2※1に該当するCO2排出量
目標	(中間目標) 2030年度までに2013年度比▲46% (最終目標) 2050年度までにカーボンニュートラル実現

※1  
Scope1：(直接排出) 車両によるガソリン使用、ガスの使用  
Scope2：(間接排出) 電気の使用

#### （サステナブル関連投資）

定義	気候変動・環境問題等の社会的課題の解決に向けた取組みを支援・促進する投融資
目標	2023年度から2030年度までに500億円

## お客様のニーズに合った店舗展開

### ●計画的な店舗リニューアル

#### 2023年9月「番田支店」 新築リニューアルオープン（環境配慮型店舗）

当行では、2023年9月に「番田支店」（神奈川県相模原市）を新築リニューアルオープンいたしました。

新店舗は、店舗屋上に太陽光発電設備を設置し、建物内の照明等に電力を供給するほか、壁・床に耐久性、断熱性の高いメンテナンスフリーのセラミック製建材を使用した「環境配慮型店舗」とすることで、CO2排出量の削減を実現します。

また、お客様に落ち着いた雰囲気の中でご相談いただけるよう、ロビー・応接室の面積を現店舗の2倍に拡大しております。



#### 2023年10月「東京支店」移転リニューアルオープン 11月「川崎支店」移転リニューアルオープン

当行では、「東京支店」を港区愛宕の愛宕東洋ビル7階、「川崎支店」を神奈川県川崎市のパレール三井ビルディング10階にそれぞれ移転し、リニューアルオープンいたしました。

※ 新住所はホームページをご覧ください。

#### 東京支店



#### 川崎支店



### ●CSショップ（インストアブランチ）展開

CSショップは、住宅ローンや預かり資産等の相談業務中心の個人向け店舗です。各種イベントやセミナーなど、様々な取組みを実施してまいりますので、お近くにお越しの際には、是非、お気軽にお立ち寄りください。

2007/12  
1号店 サントムーン柿田川出張所  
(静岡県駿東郡清水町)

2010/12  
2号店 湘南モールフィール出張所  
(神奈川県藤沢市)

2013/4  
3号店 マークイズ静岡出張所  
(静岡県静岡市)

2015/10  
4号店 ららぽーと海老名出張所  
(神奈川県海老名市)



“お客様・地域社会と共に発展しベストパートナー  
として信頼される銀行”を目指します。



静岡中央銀行

**THE SHIZUOKACHUO BANK,LTD.**

■発行 2024年1月

株式会社静岡中央銀行/経営管理部  
〒410-0801 沼津市大手町4丁目76番地  
TEL.055-962-6113

■ホームページアドレス

<http://www.shizuokachuo-bank.co.jp/>



見やすく読みまちがえにくい  
ユニバーサルデザインフォント  
を採用しています。



環境に配慮し、植物インクを  
使用しています。